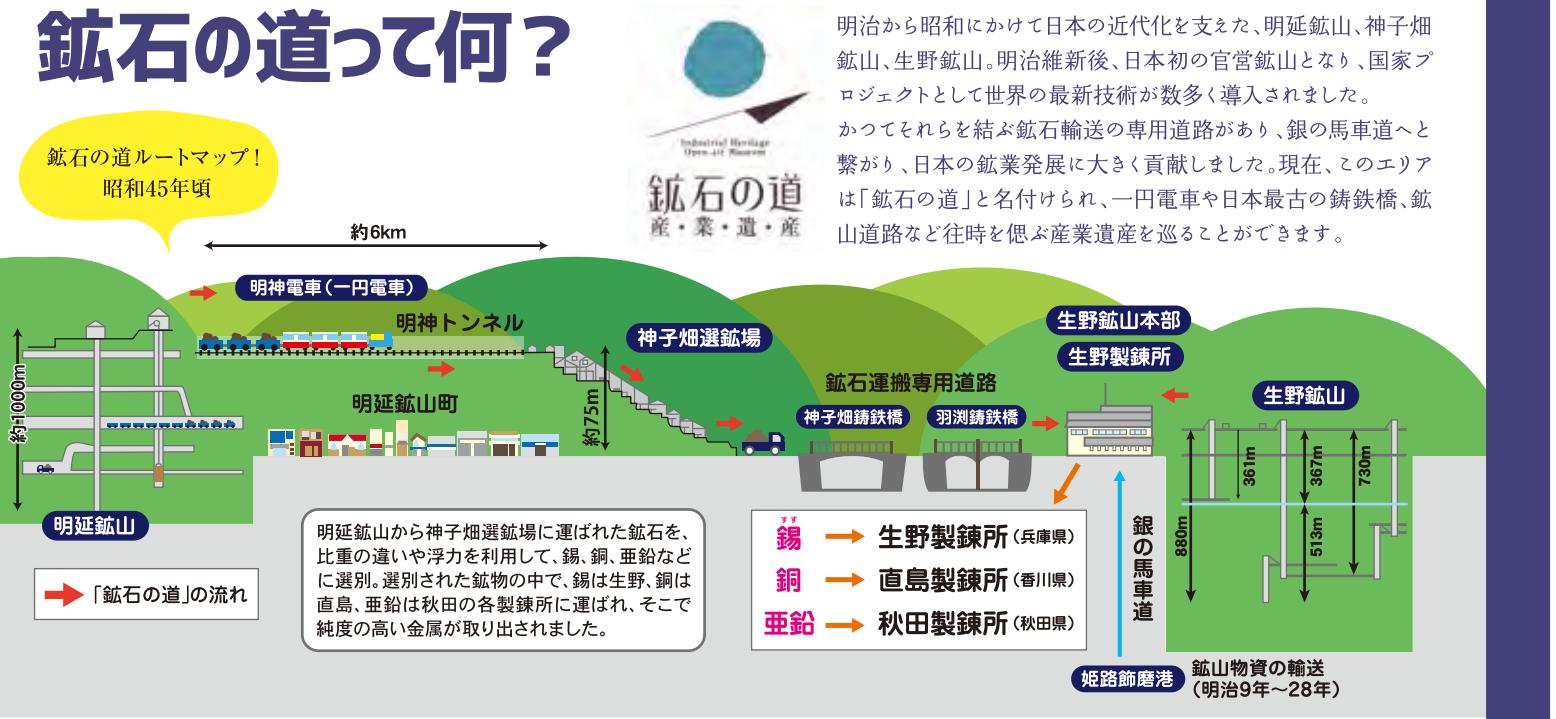
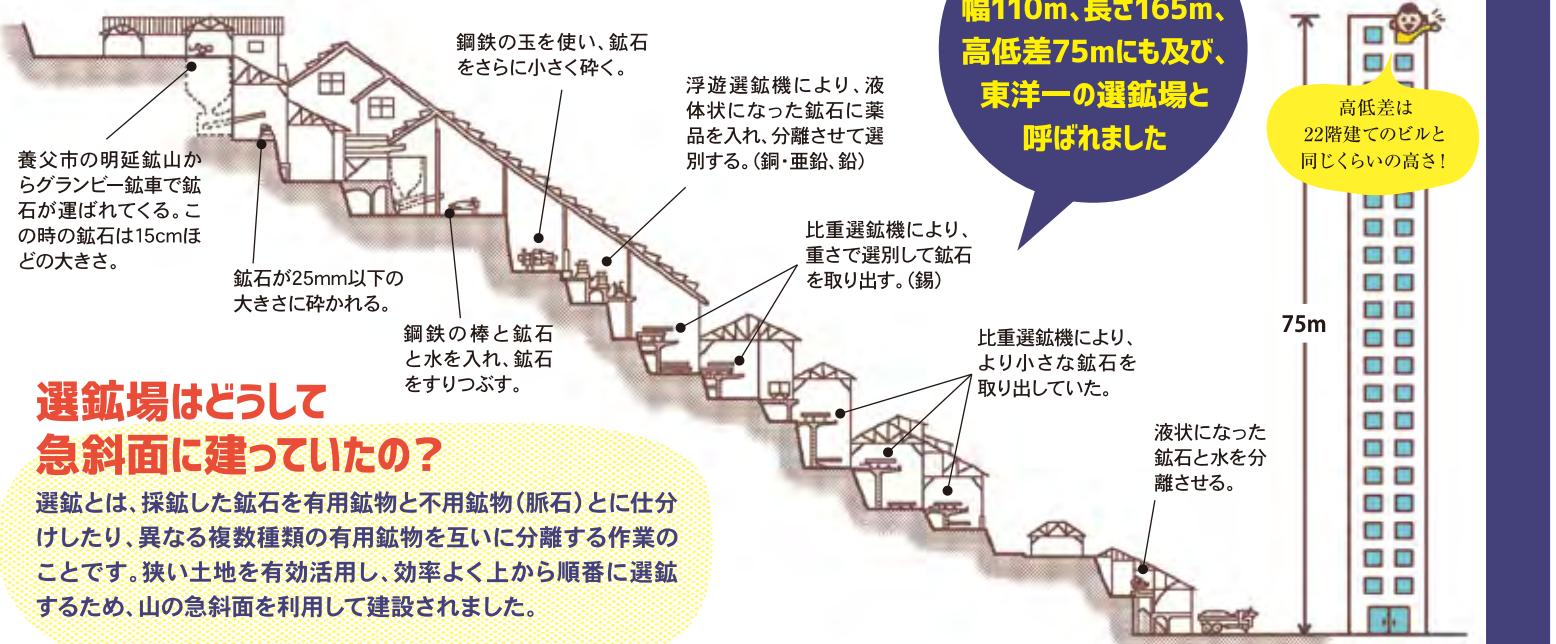


鉱山豆知識

鉱石の道って何?



神子畠選鉱場 断面図



選鉱場はどうして急斜面に建っていたの?

選鉱とは、採鉱した鉱石を有用鉱物と不用鉱物(脈石)とに分けたり、異なる複数種類の有用鉱物を互いに分離する作業のことです。狭い土地を有効活用し、効率よく上から順番に選鉱するため、山の急斜面を利用して建設されました。

シックナーの仕組み

微細な個体が混じった液体から、水分を除いて濃縮(脱水)、固体物を取り出す非ろ過分離装置。シックナーと呼ばれる円形の水槽です。



神子畠選鉱場全景(昭和30年頃)



神子畠選鉱場正門橋(昭和30年頃)



アクセスマップ

神子畠へのアクセス

JR播但線「新井駅」下車
→市コミュニティバス(火・木のみ)
「神子畠」行きで約20分
または播但連絡道路「朝来IC」より
国道429号で約15分



周辺お立ち寄りスポット



竹田城跡

天空の城として有名。勇壮な石積みで全国屈指の山城として知られ、国史跡に指定。秋から冬にかけて、よく晴れた日の翌日の早朝には雲海が発生し、まさに天空の城の姿を見せててくれる。

◆朝来市和田山町竹田
◆有料



Oak-yard

木の温もりがあたたかいカフェ。旬の素材をふんだんに使ったランチやパスタランチなど、北欧のアンティーク家具で統一されたセ

ンスのよい店内でゆっくり楽しめる。
◆朝来市佐囊(さのう)998 ◆木曜定休
◆11:00~17:30 (LO17:00)
◆079-677-2333



道の駅あさご

国道312号沿いにある但馬で一番歴史のある道の駅。地元の特産品が揃う村おこしセンター、レストラン、木工クラフトセンターなどが集う。冬の岩津ねぎなど地元のとれたて野菜が並ぶ朝市が人気。

◆朝来市多々良木213-1
◆079-678-0808



さのう高原で自然体験

さのう高原にある「スカイピラさのう」ではパラグライダー体験やバーベキューなどアウトドアが楽しめる。また、「フォレストアドベンチャー・朝来」では森の木々をそのまま利用した本格アスレチックが体験できる。

スカイピラさのう ◆朝来市佐囊(さのう)66-1 ◆079-677-1855
フォレストアドベンチャー・朝来 ◆朝来市佐囊(さのう)66 ◆090-6739-2195



平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業
(発行)神子畠鉱石の道推進協議会

さのう
兵庫県朝来市佐囊1826-1 ムーセ旧居内

TEL.079-677-1717 (3~12月の土日祝のみ)

その他の期間: TEL.079-677-2111(朝来市あさご観光協会)

神子畠ガイド案内もあります!

歴史を知れば旅の楽しさが倍になる!
神子畠の魅力を地元ガイドがご案内します♪
◆約1時間程度 ◆ガイド1人につき2,000円(15名程度から受付) ◆要事前予約(平日実施は要相談)



トロッコ道、シックナー、ムーセ旧居、日本最古の鋳鉄橋...
マップ片手にタイムスリップ!

東洋一の選鉱場「神子畠選鉱場」へようこそ



MIKOBATA SANSAKU MAP

歴史ロマン散策旅



ぶらり 神子畠 散策マップ。

日本近代化の原点! 「東洋一」の選鉱場を歩く



神子畠グッズをお土産にどうぞ



① 神子畠選鉱場跡
神子畠鉱山も明治終期に閉山し、大正8年より明延鉱山の鉱石を選鉱する「神子畠選鉱場」に生まれ変わった。昭和62年明延鉱山閉山と共に操業を停止し、平成16年、老朽化した建物が取り壊され、コンクリートの基礎のみが残る。近代化産業遺産。



③ インクライン(ケーブルカー)と操作小屋
インクラインとは傾斜面にレールを敷いて、動力で台車を動かして貨物を運ぶ装置のこと。ケーブルカーと構造は同じで、貨物用の場合、特にインクラインと呼ばれる。選鉱場の上部までは7.5m、傾斜2.6度、斜延長165m。神子畠選鉱場は傾斜地に作られていたので、各フロアの資材と人の移動を担っていた。巻き上げ機で台車を2つ繋いで斜面を往復していた。操作は頂上の操作室で行われ、線路の真中が複線になって対向できるようになっている。手信号で乗降が行われていた。

神子畠鉱山の足跡

神子畠鉱山は平安時代に開山したといい伝えられ、15世紀から採鉱が盛んになったとされています。神子畠鉱山が最も繁栄したのは、明治10年代から30年のこと。明治の新政府が生野鉱山周辺を調査した結果、明治11年(1878)に新鉱脈が発見され、生野鉱山の支山「加盛山」として銀の採鉱が始まりました。しかし、明治40年以降は鉱脈が減少し、明治42年に明延鉱山で錫鉱脈が発見されたことで、採鉱は明延に移りました。神子畠鉱山は明延鉱山の鉱石を選鉱する「神子畠選鉱場」に生まれ変わりました。



東洋一の選鉱場

明延鉱山で採鉱された鉱石の選鉱場となった神子畠は、大正8年(1919)に錫の選鉱場を竣工。昭和9年(1934)には硫銅選鉱場を開設し、昭和15年の拡張工事を経て、「東洋一」と言われる選鉱施設となりました。最盛期の昭和30年代には、神子畠地区に1,300人もの人々が生活していました。昭和62年(1987)、明延鉱山の閉山にともない、神子畠選鉱場も操業を停止し、閉鎖しました。その建物は長らく残っていましたが、平成16年に老朽化のため取り壊され、現在はコンクリートの基部やシックナーの一部等が残っています。

